

# カウンセリングルーム通信




発行元：JAグループ福島カウンセリングルーム（JA福島中央会 人材育成部）

JAグループ福島では、令和3年9月に職員が日常業務においてどのような意識をもって取り組んでいるかを調査し、職員満足度（ES）を把握することを目的に、県内5JAで働く職員を対象とした『職員意識調査』を実施し、3,612名の方々から回答をいただきました。

お忙しいなかご協力いただきまして、ありがとうございました。

今回は結果の一部をご紹介します。なお、詳しい内容は、各団体の人事担当部署へお問い合わせください。

## <満足度が高かった上位3項目>

	<b>1位</b> 担当している仕事の工夫を意識している	<b>83.3%</b>
	<b>2位</b> 組合員や利用者ニーズの思いを把握するよう努めている	<b>83.2%</b>
	<b>3位</b> あいさつや礼儀など基本的マナーが徹底されている	<b>82.5%</b>

●満足度上位3項目は、常日頃の業務に対する改善意識や組合員満足度を意識した行動がなされており、基本的マナーも徹底されていることがわかりました。

## <JAグループ福島と他社との比較>

●あなたの職場の中では、仕事上の報告・連絡・相談がうまくいっていると思いますか。

<うまくいっている>

【JA】	<b>68.4%</b>	
【他社】	<b>58.2%</b>	

●あなたの職場の中では、休日の確保や長時間労働の防止等労働条件に十分配慮されていますか。  
（JAグループ福島は、前回調査（平成30年度）より、満足度が上昇しました。）

<配慮されている>

【JA】	<b>65.4%</b>	
【他社】	<b>57.4%</b>	

●JAグループ福島と他社との比較では、コミュニケーションがうまくとれ、働き方改革への取り組みもなされており、報告・連絡・相談もきちんとできていることから、職場での雰囲気良好であることがわかりました。

## 【職員満足度のまとめ】

事業計画達成に向けた進捗管理は徹底されつつあるものの、前回調査（平成 30 年度）と比較をすると、職員の働く意欲は低下傾向にありました。

また、自由意見では『相談事があっても、どこに相談したらいいかわからない』『現場の意見をもっと聞いて欲しい』『相談しても聞いてもらえない』『中途退職者が多い』などのほか、パワハラ被害の訴えや退職の意向など、すぐにでも対応しなければならない意見も見受けられました。

このようなことから、一人ひとりが忙しいなかでも顔を上げて仲間を見守り、いつもと違う様子がないか気を配る、話し合いの場をもってみるなど、できることからの「草の根取り組み」が大切です。

J Aグループ福島カウンセリングルームでは、「具体的にどのように話し合ってみたら良いのだろうか」など、皆様の新たな一步を踏み出すお手伝いをしたいと考えておりますので、お気軽にご相談ください。

## ● J Aグループ福島カウンセリングルームにおける主な相談内容

①人間関係（上司、同僚、部下等）	43.5%
②業務の適性	21.7%
③職場環境	8.7%

相談の多くが、職場に関する悩みで7割を超えています。

そのなかでも特に、上司や同僚などとの人間関係による悩みが約半数となっており、良好な人間関係を築くためにもコミュニケーションを取ることや相談をすることの大切さがうかがえます。



## お問い合わせ・ご予約

### JAグループ福島 カウンセリングルーム

<https://ja-fc-counseling.jimdofree.com/>

☎ 024-563-7322

『対面・電話・オンライン（zoom）・メール・出張カウンセリング』があります。



## \*ちょっとひとやすみ\*



厚生労働省では、年末に向けて業務の繁忙等によりハラスメントが発生しやすいと考えられる12月を「職場のハラスメント撲滅月間」と定め、ハラスメント防止の必要性及び法令に基づき必要となる取組について周知を行うこととし、職場のハラスメントをなくし、みんなが気持ちよく働くことができる職場環境をつくる気運を盛り上げるため、集中的な広報・啓発活動が実施されています。

みんなでハラスメントのない快適な職場環境を作りましょう!!